

第60回地区衛生組織活動資金募集(環境・健康募金)事業スタート

地域の「環境づくり」「健康づくり」の財源に
ご理解・ご協力をお願いします

昭和35(1960)年2月、広島県公衆衛生大会で世界保健デーの4月7日を「健康感謝の日」と定めて以来、毎年募金活動を実施し、今年で第60回を迎えます。地区衛生組織活動資金募集(環境・健康募金)は、「私たちの地域は私たちの手で」という思想のもと、地域ぐるみの公衛協活動を行うための活動資金を集めるものです。

集められた募金は、公衛協・環保協・事務費に配分され、さまざまな公衆衛生活動に役立てられます。配分基本額は世帯数を元に設定します。公衛協は、配分基本額の70%+配分基本額を上回る募金を、環保協と事務費は、それぞれ配分基本額の25%と5%を配分しています。

公衛協に配分された募金は、環境づくり事業(ごみ減量・リサイクル推進、地域清掃・美化活動、脱温暖化



普及啓発)や、健康づくり事業(食育、ウォーキング、献血、がん検診受診勧奨)に活用されています。募金の使途は公衛協によって異なりますので、詳しくは公衛協事務局へお問い合わせください。

環保協配分金は、公衆衛生推進手帖の作成、全県共通事業の活動支援グッズの作成、公衛協のリーダー養成研修、学習教材の貸し出しなどに活用しています。

事務費配分金は、募金事業を展開するためのPR用ポスターやチラシ、募金回収袋の作成、振込手数料などに充てられています。

みなさまからお預かりした募金は、地域の公衆衛生活動のために使われ、コミュニティの「環境づくり」と「健康づくり」に役立てられています。募金の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

1万人の食チエック事業のすすめ
バランスの取れた食事を心がけ、心身ともに健やかな生活を

広島県民の健康寿命は、男性約72歳(全国27位)、女性74歳(同46位)で、全国順位では低命の延伸は大切です。

生涯を通じて、健やかで、こころ豊かに生活でき、活力あるものにするためには、健康寿命の延伸は大切です。

1万人の食チエック事業は、国が定めた第3次食育推進基本計画の重点課題である「健康寿命の延伸につなげる食育の推進」に係る取り組みで、公衆衛生推進委員自らが食生活の傾向を知り、バランスの取れた食事を心がけることで、健康づくりにつなげる事業です。

平成23年度から継続し、今年度で9年目を迎えます。

強化期間6月13日～6月19日の7日間は、食べた食品をカードに記載し、食事バランスを確認していきます。

目標は、「主食・主菜・副菜を組み合わせ、食生活を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合を70%以上

食に関する知識と食を選択する力を習得し、心身ともに健やかな生活を実現しましょう。

食に関する知識と食を選択する力を習得し、心身ともに健やかな生活を実現しましょう。

地域活動支援センターの主な行事予定(令和元年度)

Table with 3 columns: 月 (Month), 日 (Date), 事業名(開催場所) (Event Name/Venue). It lists various events from April to March, including seminars, training courses, and conferences.

食チエックカードでは、「3色」に加えて、当協会の管理栄養士からアドバイスがあった、栄養バランスを取るために欠かせない「愛情の一品」と言われる、牛乳・乳製品と果物もチェックします。

食に関する知識と食を選択する力を習得し、心身ともに健やかな生活を実現しましょう。

食に関する知識と食を選択する力を習得し、心身ともに健やかな生活を実現しましょう。

食に関する知識と食を選択する力を習得し、心身ともに健やかな生活を実現しましょう。

1万人の食チェックカード. A grid for tracking food intake over 7 days (6/13-19). Includes a legend for food categories and a section for reasons for not eating certain items.

平成30年度の実績は、バランスのよい食事を取っている人の割合は62.4%、実践率は41.7%で、2つの目標を達成できませんでした。

今年度の目標は、実践率を達成できるように努めます。

記入例を参考にしよう. An example of how to fill out the food check card, showing a meal with rice, meat, and vegetables.